

平成 25 年度対セネガル草の根・人間の安全保障無償資金協力

「サンガルカム地元農家生産性向上計画」

「サンガルカム地元農家生産性向上計画」(90,774 ユーロ(約 970 万円))では、土壌成分・肥沃度等を分析し、土壌・種子・栽培方法の最適化を零細農家に教育・指導することで農作物の生産性と所得向上を目指している農業土壌改善支援研究所に対し、pH 計、炎光光度計等の土壌分析機材並びに土壌分析施設の整備を行います。

セネガルの就業人口に占める農林水産産業人口の比率は 7 割を超えているのに対し、対 GDP 比に占める農林水産産業の割合は 2 割程度にとどまっており、農林水産分野の生産性は他産業と比較して低い状況にあります。北西沿岸では他地域と比べて水資源へのアクセスが容易であることから、多くの零細農家がサヤインゲン、玉葱、キャベツ、トマト等の野菜栽培を行っています。しかしながら、同地域の農家では土壌の状態を把握することなく、必要な土壌改良や適切な施肥が行われずに野菜が栽培されており、農業生産性は低迷しています。また、同地域の農業土壌支援研究所サンガルカム支部では、財政的事由のため検査器具が整備されていないことから、経験則等に基づく指導にとどまり、土壌分析結果を根拠とした科学的指導が出来ないでいます。

本計画により、サンガルカム郡の約 6,000 名の零細野菜農家が適切な土壌診断を受けられるようになり、栽培する野菜の生産性向上と貧困削減に寄与することが期待されます。



左:農業土壌改善支援研究所mam・ンデネ・ロ代表

右:北原大使